

6月定例会 一般質問要旨



女性の負担軽減に関する支援について



公明クラブ 高橋 えみ

議員 コロナ禍での経済状況の悪化により、生理用品の購入が困難となる「生理の貧困」が顕在化しています。就学援助受給世帯の女子生徒に対し、本市で行った支援の内容を伺います。

教育部長 就学援助受給世帯の中学生女子284人のうち、希望して受け取りに来た148人に、約6カ月分の生理用品を配布しました。対象者のうち約半数ですが、必要な支援ができたと考えます。

議員 子どもたちが安心して学び、生活できるよう、引き続き就学援助受給世帯への支援を行うとともに、小学校や市立太田高校も支援の対象とする必要があると考えますが、所見を伺います。

教育部長 今後も有効な支援方法を研究していきたいと考えます。

議員 本市で災害時に備蓄されている生理用品について、使用期限が近いものを配布する等、支援につなげてほしいと考えますが、所見を伺います。

総務部長 非常用備蓄食糧と同様に、

フードバンク等の関係機関と連携を図りながら、必要な人に提供する等、有効に活用していきたいと考えます。

議員 悪化する経済状況に大きく影響を受けている女性のため、生理用品の寄付を募り、フードバンク等で配布すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 生活困窮世帯の小学生から高校生までは市で対応します。寄付の受け付けも検討しますが、生理用品は必需品ですので、成人については自分で購入できるように、計画的に生活する習慣も身に付けてほしいと思います。



■その他の質問

・切れ目のない子育て支援について



(仮称)太田西複合拠点公共施設の進捗状況について



太田クラブ 木村 浩明

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設の今後の開発スケジュールを伺います。

企画部長 5月に1回目のワークショップが行われました。今後数回のワークショップを経て、年内に基本設計、本年度内には実施設計を作成する見込みで、令和4年度には工事着工を予定しています。

議員 施設の設計に当たっては、面積ありきではなく、削ってしまうと魅力がなくなるような機能には融通を利かせてほしいと思いますが、所見を伺います。

企画部長 面積ありきで設計を行うものではなく、必要な機能を十分に吟味した上で造り上げる予定です。一方で予算には限りがあり、必要以上に大きな面積となることは避けなければなりませんので、ご理解いただきたいと思ひます。

議員 基本構想の図書館の部分には「ゆっくりと読書を楽しめる空間」の記載があり、私もこれこそ重要と思ひます。そのためには座って本を読みたいと思える閲覧席が必要と考えますが、実際に割り当

てられる床面積で足りるのか心配です。魅力的な施設とするために大切な要素には、制限をかけずに面積を確保すべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 少しコンパクトな造りで、読書をしたり自由に過ごしたりする空間が小さくなりそうなのは私も気になります。行政センター、保健センター、図書館で共有できる複合的なスペースを設けるなど、工夫できればと考えます。これからもワークショップ等を通じて、欠点を見つけたら意見をいただけるとありがたいと思ひます。

■その他の質問

・本市の奨学金制度について
・本市における医師不足について



学校のバリアフリー化と介助員について



創政クラブ 今井 俊哉

議員 令和3年4月1日より学校のバリアフリー化が義務付けられましたが、本市の取り組み状況について伺います。

教育部長 近年建築した校舎は基準に適合しています。一定年数が経過している校舎は、多目的トイレの設置やトイレの段差解消などの改修を行い、順次適合させていきたいと考えています。



議員 本市における介助員の配置状況について伺います。

教育部長 現在54人の介助員を小・中・義務教育学校34校に配置しています。

議員 介助員の重要性と今後のよりよい在り方について、所見を伺います。

教育長 一人一人の障がいの特性に応

じて、指導上の配慮を充実させるために、介助員の配置は重要です。担任と介助員が共通認識を持ち、連携して指導支援に当たることが大切であると考えます。

議員 学校のバリアフリー化の在り方について、市長の所見を伺います。

市長 学校の機能を高めるために、バリアフリー化は望ましいものであり、国の補助金を活用しながら、改修を進めていきたいと思ひます。

議員 学校のバリアフリー化をソフト面から考えた時、介助員がこれに該当すると思ひます。施設改修は多額の費用と時間を要しますが、ソフト面は柔軟な対応が可能と考えます。助けを求めている子どもたちに手を差し伸べるきっかけとして、介助員の認知度向上の取り組みが必要と考えますが、所見を伺います。

市長 介助員さんの存在は非常に大事なテーマだと思ひますので、エフエム太郎のラジオ番組の中でぜひ話を聞かせてもらい、紹介していきたいと思ひます。



医療的ケア児と家族を支えるサービスの充実について



公明クラブ 星野 一広

議員 現在、本市で把握している在宅の医療的ケア児の人数を伺います。

福祉子ども部長 令和3年3月末現在で19人です。

議員 医療的ケア児を預かるためには専門人材の配置や環境整備等が必要ですが、本市の障害児通所支援事業所における医療的ケア児の対応状況を伺います。

福祉子ども部長 未就学児が利用する児童発達支援事業所は10カ所中1カ所、就学児が利用する放課後等デイサービスは34カ所中4カ所が対応しています。その他にも任意に看護職員を配置し、医療的ケア児を受け入れている事業所が数カ所あります。

議員 在宅の医療的ケア児を介護している家族に対する一時預かり等のレスパイトケア(小休止)について、本市の状況を伺います。

福祉子ども部長 現在、本市には該当する施設はありません。

議員 24時間付き添いが必要な医療

的ケア児の家族のため、レスパイトケアをはじめとしたサービスの充実が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 市内にいる19人の当事者は、それぞれ事情が異なると思ひますが、一人一人を大切にしながら、必要な支援を具体化できればと考えます。本市の施策の不十分な点について、直接指摘してもらえるとありがたいと思ひます。



■その他の質問

・障がい児者の親なき後等の問題について
・ヤングケアラー支援について
・コロナ禍における生活困窮者対策について